

1. 略歴

| | |
|---------|-------------------------------|
| 1993年3月 | 一橋大学社会学部卒業 |
| 1994年4月 | 東京大学大学院 社会学研究科社会学専攻 修士課程入学 |
| 1996年3月 | 同 人文社会系研究科社会文化研究専攻 修士課程修了 |
| 1996年4月 | 同 博士課程進学 |
| 2001年3月 | 同 博士課程単位取得退学 |
| 2001年4月 | 博士（社会学）学位取得（東京大学） |
| 2001年4月 | 立命館大学産業社会学部助教授（～2007年3月） |
| 2005年9月 | フランクフルト大学社会研究所客員研究員（～2006年9月） |
| 2007年4月 | 立命館大学産業社会学部准教授（～2008年3月） |
| 2008年4月 | 明治大学情報コミュニケーション学部准教授 |
| 2011年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科准教授 |
| 2020年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科教授 |

2. 主な研究活動

a 専門分野

理論社会学 社会学史研究

b 研究課題

- (1) フランクフルト学派の学説史研究
- (2) コミュニケーション理論、承認理論に基づく批判的社会理論の展開
- (3) 日本の社会学史の再評価と海外への紹介

c 概要と自己評価

- (1) エーリッヒ・フロムの理性概念とそれに基づく社会批判の再構成を行っている。その成果を国際エーリッヒ・フロム協会主催の国際会議で報告、論文として発表した。現在は後期フロムのナルシズム論の再評価を行う一方、後期ヒューマニズムを生成の哲学の観点から再構成する作業に取り組んでいる。
- (2) 現代資本主義の構造的性質を理論的に解明する。「資本主義的近代化のパラドックス」や現代社会がかかえる社会病理の諸相を承認論、コミュニケーション論の観点から分析している。
- (3) 欧米の社会学理論を背景に戦後日本で発展した社会学理論の独自性に注目し、その現代的意義を再評価すると同時に、国際会議の場で世界に発信している。

d 主要業績

(1) 論文・著作

『東大教授十小時間教会你大學四年的社會學』、五南出版、2020年、226頁

(2) 学会発表

「社会認識のアーカイブとしての日本社会学史一家族・地域・市民社会から戦後日本を読み解く」（コーディネーター及び司会）、2021年6月、第60回日本社会学史学会・大会シンポジウム（東京大学・オンライン開催）
「世界関係の社会学とポスト・ヒューマン社会における猫社会学」、2021年11月、第94回日本社会学会大会・テーマセッション「猫社会学の理論と方法」（東京都立大学・オンライン開催）

(3) 翻訳

Stephan Moebius, “History of Sociology in German Speaking Countries since 2000” 「2000年以降のドイツ語圏諸国における社会学史」、『社会学史研究』43号、2021年：59-79（高舂賢との共訳）

(4) その他

「理論はいかにして自由な空間を切り拓くのか」（書評 榎村愛子著『この社会で働くのはなぜ苦しいのか』）、『現代社会学理論研究』14号、2020年：113-117

「大会シンポジウム『ヨーロッパ社会学』に寄せて」、『社会学史研究』第42号、2020年：3-6

「座談会」「今、学説史研究の未来と可能性を考える 齋藤史朗・佐藤典子・橋本直人・渡會知子・出口剛司」（司会）、『社会学史研究』43号、2021：19-40

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、明治大学大学院情報コミュニケーション研究科、「社会的人間論」、2013.4～

非常勤講師、明治大学情報コミュニケーション学部、「コミュニケーション基礎」、2013.4～

非常勤講師、立教大学社会学部、「社会学史」、2013.4～

非常勤講師、中央大学法学部、「現代社会理論」、2013.9～2021.3

(2) 学会

日本社会学理論学会理事・編集委員会委員長（2020～2022年）、編集委員会専門委員（2018～2020年）

日本社会学史学会研究担当理事（2017～2020年）、同開催校理事（2020～2021年）

関東社会学会理事・研究委員会委員（2019～2020年）、同大会開催校理事（2021年）

関東社会学会編集委員会委員（2017～2019年）

日本社会学会研究委員会委員（2017年（開催校）、2019～2021年）日本社会学会代議員（2020年～）

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター、運営委員（学外委員）、2012.1～